那須塩原市
生物多様性地域戦略

～ネイチャーポジティブな那須野が原を目指して～

＜概要版＞

令和６(2024)年５月

那須塩原市

那須塩原市の生物多様性

那須塩原市の自然の状況

那須塩原市の
**生物多様性の
４つの危機**

開発などの人間活動による危機
宅地分譲や太陽光発電設備の開発による森林伐採　など

野生鳥獣の食害による危機
野生鳥獣の個体数増加による農作物や希少野生植物への食害　など

外来種による危機
人間が地域外から持ち込んだ外来生物による地域固有の在来種の減少・絶滅　など

気候変動による危機
地球温暖化による農作物への被害、異常気象、生態系への悪影響　など

那須塩原市の自然の特徴と施策の方向性

扇状地（扇頂部）エリア
那須野が原の農地を代表する広大な景観
水稲と酪農（主に乳牛）のパッチ状の景観

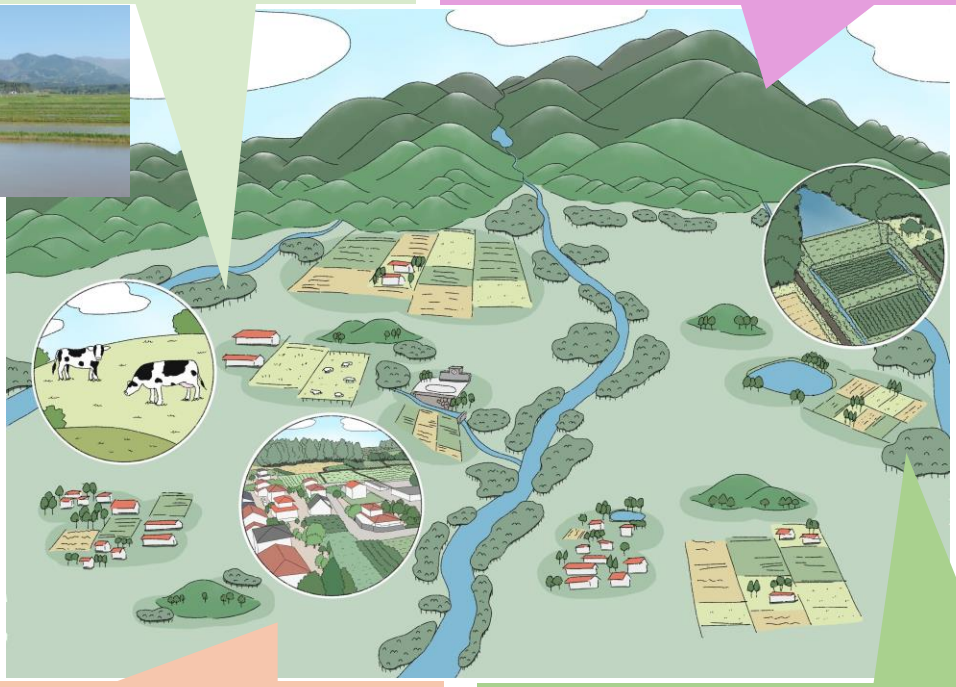
方向性

- 水稲と酪農のパッチ状の景観を維持していく。
- 堆肥の農地利用や耕作放棄地での飼料用米作付けなど、水稲と畜産のコラボにより水田景観や生物多様性を維持していく。

山岳地エリア
日光国立公園を含む保護エリア
国有林の保護林や緑の回廊が特徴
観光地（温泉地）もある

方向性

- 国立公園だけでなく全体を守られた地域に。
- 観光客向けに魅力を発信していく。



扇状地（扇央部）エリア
湧水が点在
田畑や平地林（二次林）、住宅地が広がる

方向性

- 残すべき場所を保全された状態で残す。
- 生物多様性保全と宅地化を調和する。
- 那須塩原駅周辺は（OECM、自然共生サイト等への登録も含めて）生物多様性の観点を入れ込んだ整備を行う。

丘陵地エリア
ため池群と谷津田地形による里地的景観

方向性

- ため池の管理も含めて適切に維持していくとともに、外来種の駆除と併せて在来の生態系を回復させていく。

生物多様性地域戦略の全体像

目標

■目指すべき将来像■

市民が幸せに 地域が元気になる
ネイチャーポジティブなまち 那須塩原

■2030年目標

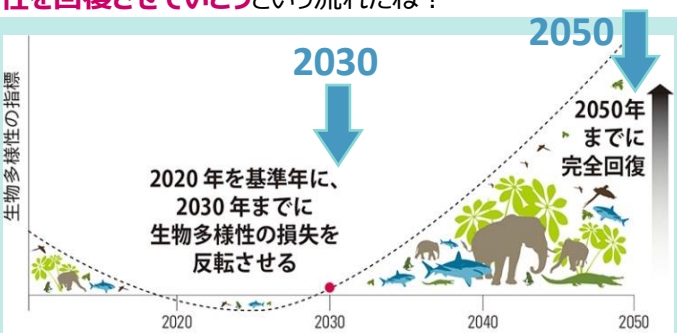
市民の**幸福度向上**、行政と事業者との連携拡大による**地域経済活性化**のほか、人と人とのつながりを重要なものと捉え、生物多様性に留まらず幅広い視点から、市民・地域・事業者とともに**みんなが元気になるまち**を目指します。

■2050年目標

「2050 Sustainable Vision 那須塩原～環境戦略実行宣言～」で掲げる**3つの柱（ネイチャーポジティブ、カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミー）によるシナジー創出**を図るとともに、持続可能で豊かな暮らしがある**「なすしおばらLife」を体現できるまちづくり**を目指します。

ネイチャーポジティブとは

ネイチャーポジティブとは、「2030 年までに自然を回復軌道に乗せるために生物多様性の損失を止め反転させること」です。つまり、**生物多様性を回復させていこう**という流れだね！



出典：WWF(2022)生きている地球レポート2022 ーネイチャー・ポジティブな社会を構築するためにー

2030年までのネイチャー・ポジティブに向けた自然のための測定可能な世界目標（出典：Locke et al.,2021）

施策体系

基本戦略	状態目標	指標
戦略1. **健全な生態系の保全** **～生きもののざわめく那須野が原へ～** 各生態系の規模や質を向上させる 本戦略において最も基本的な項目	目標1. 国立公園内の生態系が健全に保全されている	■カテゴリー改善した希少種（市指定）の数
	目標2. 保護地域が拡大され、広範囲にわたり生態系が保全されている	■市域に占める保護地域面積 ■OECM又は自然共生サイトの認定数
	目標3. 希少種に指定されている動植物が生息・生育している	■市レッドリストにおける絶滅種数 ■生息地等保全協定区数
	目標4. 里地里山を含む二次的自然環境が保全されている	■遊休農地面積 ■新規就農者数
戦略2. **自然を活用した地域経済の活性化** **～ネイチャーポジティブを ビジネスチャンスに！～** 豊かな自然資本を持続可能な農林業や観光振興等に活用し、資源の過少利用による生物多様性の損失を防ぐとともに、資金の好循環を促進し、地域経済の活性化を目指す	目標1. 自然を活用した持続可能な産業が普及している	■持続可能な観光の国際基準認証団体数 ■日光国立公園（那須塩原市域）の入込数
	目標2. 市内全域で持続可能な農畜産業が普及している	■環境保全型農業の取組団体数
	目標3. ネイチャーポジティブの視点を持つ企業活動が活発な状態	■市の環境施策に協働して取り組む事業者数 ■自然環境に関する事業に係る企業版ふるさと納税額
戦略3. **市民や企業による参画と貢献** **～みんなで作るネイチャーポジティブ～** 本市が持つポテンシャルや自然の素晴らしさを市民自らが認識し、大切にする社会を目指す	目標1. 豊かな自然の価値を認識している市民の割合が高い	■こどもエコクラブ登録メンバー ■水辺調査・各種観察会の参加者数
	目標2. 様々な主体が連携して生物多様性の保全に取り組んでいる状態	■市が各種団体や企業等と連携して実施する環境保全活動

重点プロジェクト

重点プロジェクト

1．50by30目標の達成

「2030年までに市の面積の50%以上を保全する」という本市独自の目標

50by30へ

那須塩原市版自然共生サイトの拡大×企業連携

2．湿原・湿地の食害対策・植生回復

保全ゾーンを設定してシカ侵入防護柵設置や鳥獣被害防止策による湿原・湿地の植生の回復及び保全

H17(2005)

R5(2023)

沼ッ原湿原におけるニッコウキスゲの植生変化

3．特定外来生物の防除

ツヤハダゴマダラカミキリの食害により枯死した樹木の被害拡大防止措置

在来の野草を駆逐してしまうオオキンケイギクの駆除活動

4．越堀・寺子地区における農業生態系の保全

生物多様性保全のモデル地区とし、農作物のブランド化の促進、ため池の適切な管理による農業生態系の持続的な保全

那須拓陽高校との協働による生物生息状況調査地区

計画期間

令和6(2024)年度　～　令和12(2030)年度

那須塩原市　環境戦略部　ネイチャーポジティブ課